

平成 23 年度 (2011 年度) もくせい福祉会後援会 第 7 回総会議事録

- ◆ **日 時** 平成 23 年 5 月 15 日 (日) 15 : 25 ~ 16 : 15
- ◆ **場 所** 浦和ふれあい館 2F 会議室
- ◆ **出席者** 正会員出席者 43 名 (正会員委任状 56 通、正会員総数 135 名)
- ◆ **議長及び議事録署名人の選任**

大森後援会会長は挨拶の後、会則第 7 条 3 項の規程 (3 分の 1 以上の出席 (委任状は出席とみなす)) により、総会成立を宣言。議長に宇都宮理事を推薦し、了承された。

宇都宮議長は議事録署名人に金沢理事及び小笠原理事を選任したい旨発言があり、出席者はこれを了承し、両氏ともこれを承諾した。

◆ 総会議案の審議

【第 1 号議案】平成 22 年度活動報告について <齋藤副会長より>

「もくせい福祉会」への財政的な支援と、施設職員への支援に努めると共に、正会員による「精神保健福祉に関する諸問題についての啓発、調査、研究」に関わる活動を継続して行うとして活動した。

1. 1 もくせい福祉会への寄付

「もくせい福祉会」へ予算通りに 60 万円の寄付を行うことが出来た。

1. 2 正会員による「精神保健福祉に関する諸問題についての啓発、調査、研究」

正会員による後援会会則の目的と事業に沿う活動について取組みを強化した。

具体的には厚生労働省からの依頼を受けて立ちあがった「こころの健康政策構想会議」(座長：都立松澤病院院長・岡崎祐士氏)に関連する活動、重度精神障害者の地域生活を支援するための専門家チームによる家庭に届けられる支援 (ACT=Assertive Community Treatment=包括型地域生活支援プログラム) を、さいたま市に立ち上げるための啓蒙に関連する活動を行なった。

ACTについては、正会員の活動母体である「もくせい家族会」が中心となり、さいたま市内の精神保健福祉の専門家や当事者、家族にACTへの理解を深めてもらおうと、平成 22 年 4 月から 8 月まで、5 回連続講座の研修会を開催した。80 名を超える受講者が集まり、5 回の講座を終了した。現在は、受講者の中から ACT の立ち上げに興味関心の強い専門家の方々 10 名程が毎月の会議に参加している。その中から、2 つのグループが ACT に向けた動きを始めている。

正会員活動費は、これらの活動における旅費交通費と研修費に当てさせていただいた。

1. 3 行事について

(1) 施設近隣の自治会との交流

近隣自治会行事への参加等、交流に努める件、「ふあくとりーもくせい」が所在するさいたま市中央区大戸一丁目の行事「お楽しみ会」(11 月 1 日)に「ふあくとりーもくせい」が出店(今年は「お汁粉」)。後援会役員有志が自治会の準備会から参加し、前日及び当日のテント設営、及び「おしるこ」の販売員として協力した。自治会役員有志との懇親会にも参加し、親睦を深めた。

(2) 講演会

もくせい家族会との共催にて、9 月 19 日(日)浦和ふれあい館にて「さいたま市での自立を考える」(講師；ヤドカリの里常任理事 増田一世氏)を実施した。

(3) もくせい会祭り(バーベキュー大会)

10 月 31 日(日)のバーベキュー大会(もくせい会グループの共催/さぎ山記念公園キャンプ場)は残念ながら台風の影響で中止となった。

1. 4 役員(あいうえお順、敬称略、★印は一般市民の役員)

平成 23 年 3 月 31 日現在の役員は次の通り。

- 会 長 … 大森 好友★
- 副会長 … 齋藤 正男
- 理 事 … 宇都宮 寿武★、小笠原 明、金沢 甫
- 会 計 … 鴨田 久美子
- 監 事 … 油井 良雄、越塚 寿人
- 顧 問 … 小辻 孝徳★

【第 2 号議案】平成 22 年度決算報告について**2. 1 決算報告**

<齋藤副会長より>

平成 22 年度 もくせい福祉会後援会決算報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位 円)

収入の部

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
正会員費	360,000	376,500	16,500	129 名 (途中入会 7 名を含む)
賛助会員費	700,000	747,000	47,000	224 名 (法人会員を含む)
購読会員費	28,000	6,500	△ 21,500	13 名
チャリティー収益	0	0	0	
雑収入	50,000	32,233	△ 17,767	寄附金、利息等
繰越金	1,180,674	1,180,674	0	前年度繰越金
計	2,318,674	2,342,907	24,233	

支出の部

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	5,000	0	△ 5,000	
通信費	30,000	5,500	△ 24,500	切手・はがき、郵送料等
事務費	10,000	14,958	4,958	領収証、プリンタ・インク代等
行事費	100,000	0	△ 100,000	
雑費	30,000	20,870	△ 9,130	振込手数料等
寄附金支出 (1)	600,000	600,000	0	もくせい福祉会へ
寄附金支出 (2)	0	0	0	
積立用寄附金	500,000	503,018	3,018	定期預金
正会員活動費	150,000	61,480	△ 88,520	こころの健康政策構想会議、ACT 等に関する旅費交通費、研修費など
予備費	893,674	90,000	△ 803,674	餅代、ラウンジへ祝い金
繰越金		1,047,081	1,047,081	次年度繰越金
計	2,318,674	2,342,907	24,233	

繰越金内訳 (1,047,081 円)

現金 33,456 円

銀行口座 855,045 円

郵便口座 158,580 円

武蔵野銀行定期預金 (5 口 計 2,514,296 円)

① 503,937 円、② 502,203 円、③ 503,613 円、④ 500,000 円、⑤ 504,543 円

監査報告 監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

平成 23 年 4 月 17 日

監事

越塚 寿人

(印)

監事

油井 良雄

(印)

2. 2 監査報告 <越塚監事より>

4 月 17 日の会計監査にて油井良雄監事と共に会計資料 (帳簿、振込通知、領収書等) の全点を付き合わせ確認したことが報告された。

- ◆ 以上をもって、第 1 号議案、第 2 号議案について、出席者一同これを承認した。
- ◆ 寄附金の使途報告 (宇都宮寿武議長からの要請により 社会福祉法人・もくせい福祉会 河面英則理事長より) 感謝と共に、もくせい福祉会への寄附 60 万円は、本部経費に充当したことが報告された。主なものは、人件費 (非常勤職員給与) 12 万円、旅費交通費約 8 万円、印刷製本費約 8 万円、通信運搬費約 8 万円、賃借料 (給与ソフト、印刷リース代他) 約 8 万円、研修費、会議費、消耗品費、雑費など。

【第3号議案】平成23年度 活動方針と計画について

＜齋藤副会長より説明＞

3. 活動方針と計画

「もくせい福祉会」への財政的な支援と、施設職員への支援に努めると共に、正会員による「精神保健福祉に関する諸問題についての啓発、調査、研究」に関わる活動を継続して行う。

3. 1 もくせい福祉会への寄付

「もくせい福祉会」からの要請により、本部経費用として55万円の寄付を行う。
その他、二つの施設（ふあくとりーもくせい、ほっとラウンジ）にて必要があれば弾力的に資金援助する。

3. 2 正会員による「精神保健福祉に関する諸問題についての啓発、調査、研究」

正会員による後援会会則の目的と事業に沿う活動について継続して取り組む。

(1) 「もくせいお茶飲み隊」の活動

「もくせい家族会」では、様々な事情で定例会、サロン、研修会などには参加できないご家族の切なる希望（自宅に来て話を聞いてもらいたい、家に来訪者を迎えて新風を吹き込みたい、とにかく気軽におしゃべりをしたいなど）に応える活動を開始する。

については、後援会正会員の活動でもあることから、訪問の際の交通費、ご苦勞に対する謝金という形で支援する。

(2) 家族研修会

正会員の活動母体である「もくせい家族会」では、平成23年6月19日(日)に講師・田尾有樹子氏（東京都三鷹市・巣立ち会・理事）を招いて家族研修会を予定。については、後援会として、会場費、講師謝金、講師交通費等について支援する。

3. 3 行事について

(1) 施設近隣の自治会との交流

日程は未定ですが、「ふあくとりーもくせい」が所在するさいたま市中央区大戸一丁目の行事「お楽しみ会」に継続して参加し、交流と親睦に努める。

(2) もくせい会祭り（バーベキュー大会）

別途日程を調整のうえ、もくせい会グループの共催にて、さぎ山記念公園キャンプ場にてバーベキュー大会を予定。賛助会員の皆さんにもご案内する。

(3) チャリティコンサート

福祉会、家族会の行事が比較的少ない12月前半頃を目標に計画する。

◆ 以上、第3号議案について、出席者一同これを承認した。

【第4号議案】平成23年度 役員について

4. 1 役員（案）（あいうえお順、敬称略、★印は一般市民の役員）

会 長 … 大森 好友★
副会長 … 齋藤 正男
理 事 … 宇都宮 寿武★、小笠原 明、金沢 甫
会 計 … 鴨田 久美子
監 事 … 油井 良雄、越塚 寿人
顧 問 … 小辻 孝徳★

【新任理事（増員）】古坂 秀之★、福地 明生★、松浦 久★

古坂氏、福地氏、松浦氏は後援会発足当初から賛助会員になっていただき、これまでのチャリティコンサート、バーベキュー大会には必ずお手伝いしていただいていた方達です。

◆ 以上、第4号議案について、出席者一同これを承認した。

【第5号議案】平成23年度予算について**5. 1 予算(案)** (齋藤副会長より説明)**平成23年度 もくせい福祉会後援会予算書 (案)**

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

収入の部

(単位 円)

科 目	前年度 予算額	今年度 予算額	比較増減	備 考
正会員費	360,000	390,000	30,000	130名
賛助会員費	700,000	750,000	50,000	225名(法人会員を含む)(会員は289名)
購読会員費	28,000	10,000	△18,000	20名
チャリティ収益	0	100,000	100,000	チャリティコンサートの収益目標
雑収入	50,000	50,000	0	寄付金、利息等
繰越金	1,180,674	1,047,081	△133,593	前年度繰越金
計	2,318,674	2,347,081	28,407	

支出の部

科 目	前年度 予算額	今年度 予算額	比較増減	備 考
会議費	5,000	30,000	25,000	役員会お茶菓子
通信費	30,000	30,000	0	切手、はがき、郵送料等
事務費	10,000	10,000	0	領収書、プリンタ・インク代等
行事費	100,000	50,000	△50,000	バーベキュー補助等
雑費	30,000	30,000	0	振込手数料等
寄附金支出(1)	600,000	550,000	△50,000	もくせい福祉会へ
寄附金支出(2)	0	0	0	施設へ(必要時には予備費から運用)
積立用寄附金	500,000	500,000	0	後援会内部積立金
正会員活動費	150,000	150,000	0	家庭訪問活動と家族研修会費用 (15万円を上限に実費精算)
予備費	893,674	997,081	103,407	次年度繰越金等
計	2,318,674	2,347,081	28,407	

◆以上、第5号議案について、出席者一同これを承認した。

【第6号議案】その他について**6. 1 賛助会員への継続のお願いについて**

(齋藤副会長より) 賛助会員の減少傾向が続き、第3種郵便(一通15円)の400名以上の条件を維持できなくなる状況になっていることから、一年に一度でもしっかりと心を繋ぎたいという思いから、継続のお願いを5月初旬に郵送させていただいた。そのお願いの中に、ご意見・ご要望の宛先メールアドレスを記載したところ、早速一人の賛助会員からメールをいただいたのでご紹介した。

==賛助会員(佐藤郁子さん)からのメール紹介(開始)==

(冒頭 略)

先日、貴後援会からの郵便を受け取りました。ありがとうございます。総会が近いのですね。お忙しいことと思います。

継続のお願い・・・とありましたが、実は、申し訳ないことに、昨年一年間は会費は未納になっておりました。甚だ勝手な理

由から、ずるずると振込が先延ばしになり、本日を迎えております。

その勝手な理由とは、もくせい福祉会あるいは後援会に対する少しばかりの疑問でした。当初は何に対して納得がいけないのか捉える事ができないまま、「何かが伝わってこない」・・・という漠然とした思いでした。

でも先日、後援会から送られてきたお願い書を読んで、私が今まで何に対してモヤモヤしていたのかが少し分りました。今まで、その時期になると賛助会費の振込用紙は会報「もくせい」の中に一緒に入れられ、送られて来ていました。つい最近になって「今後ともよろしく願いいたします」という一筆が添えられるようになりましたが、それまでは、ただ挟み込んであるだけでした。

本当に微々たる金額しか納めておりませんが、ケチなことを申し上げようであまりいい気持ちはしないのですが、そのほんの少しの感情は実は大事なような気がいたしました。私たち賛助会員は、正会員の方々の立場や状況を確実に理解することはできません。単に察することしかできません。でも、何かささやかでも出来ることがあるならば・・・と思います。なので、本当に大変な中で必死に頑張っているご本人やその家族、またそれを一生懸命にサポートしている「もくせい会」と、賛助会員の間に温度差はできるだけないのが望ましいと思います。

本来、会報はそのための大事なもののなだと思います。

ただ、残念なことにあまり「伝わってこない」文面・内容があるな・・・と感じてしまったことも事実ありました。厳しいようですが、代表者の方がそこに思いを書く、というのは会の代表として、関係するすべての人々に「伝える」ことをきちんと意識した「伝わる」文章を書くべきだと思うのです。

たとえば、研修に参加されたことを書かれている・・・でも、代表として、会として、だからどうするべきなのか、そこから何ができてきたのかという部分が乏しかったかな・・・と感じています。

代表者のことを取り上げてしまいましたが、やはり「会の顔」である以上、お会いしたこともない方なのでなおさら、代表の方が語ることが「会」の姿勢と私たちは受け止めてしまいます。ならば、何のために「後援会」はあるのだろう、ということになります。後援会はどうなふうにつまみ、感じ、どうあるべきだと思っているのだろうと・・・だから今回、後援会より送られて来た文章・内容はとても大事なのだと思いました。会と賛助会員を繋いでいるのは後援会だった、と改めて感じた次第です。

齋藤さんがまずはやる気をだすことなのでしょうね（笑）

総会が無事終了するよう応援しております。

そして、伝わってくるのが実感できたら、またささやかながら賛助会員として会を応援したいと思っております。

今後は、実際の現場の様子をもっと伝わるといいなと思っています。難しい壁もたくさんあるでしょうが、できる限りどんなものを作っているのかなど、内容が知りたいです。そのためにはHPの充実でしょうか。

生意気な偉そうなことを書いてしまいました。

もくせい福祉会が目指すべき方向に、多くの人々の理解と協力を得ながら力強く進んでいけますことを願っております。

==賛助会員からのメール紹介（終了）==

- ◆ メール紹介後、意見交換し、今後、更に賛助会員に伝わるような情報発信に努力することを申し合わせた。
- ◆ 以上をもって、宇都宮議長は議事終了を宣言し、大森会長は総会の閉会を宣言した。

以上、この議事録は正確であることを証します。

平成 23 年 6 月 7 日

議 長	宇都宮 寿武	印
議事録署名人	越塚 寿人	印
議事録署名人	金澤 甫	印